

# 嚥下通信

Vol.30

テーマ

1年間、こんな取り組みを行いました！

## 食事介助の勉強会を開催！

“食事介助の基礎知識を学ぶ”という目的で、院内職員を対象に勉強会を開催しました。「座位での介助編」「ベッド上での介助編」と全2回にわたり開催。介助方法だけでなく、食事の時の正しい姿勢づくりについて実技をまじえて研修を行い、食事介助方法の基礎を再確認できる場を作ることができました。



▲合計53名の職員が参加しました

## 口腔ラウンドやカンファレンスを実施！



▲様々な職種で話し合います

週1回の口腔ラウンド、摂食嚥下支援カンファレンスを継続的に行い、口から食べることへの積極的な支援を行いました。カンファレンスでは歯科医師を中心に多職種でディスカッションをし、カンファレンスの対象となった入院患者の9割以上で、口から食べる能力の改善がみられました。

## 嚥下通信を計6回発行！

摂食嚥下にまつわることを患者様や利用者様、そのご家族に広く知ってもらおうと、今年も計6回嚥下通信を発行しました。もっとこんなことが知りたい、こんなことに困っている、などご意見がありましたらどんどんお寄せください！



摂食嚥下研究会では、紹介した取り組みのほかにもオリジナル角度計の使用の推進や嚥下造影検査の体験会開催など、摂食嚥下に関わる様々な活動を行いました。

活動に関する質問やご意見がありましたら、摂食嚥下研究会にお声掛けください。

ST福田

掲示許可シール  
貼付スペース